

税制調査会（第27回総会）終了後の記者会見議事録

日 時：令和元年9月20日（金）14時39分～14時48分

場 所：財務省第3特別会議室（本庁舎4階）

○記者

それでは、お願いします。

○中里会長

本日の総会も前回に引き続き起草会合として、申し訳ないのですが、非公開にさせていただきました。プレスの皆様には御出席を控えていただきましたが、その点はどうか御理解をよろしくお願いします。

前回の総会では、答申の素案について委員の皆様から実に様々な御意見をいただきました。本日は前回の御議論を踏まえ、その意見を反映した形で、修正した答申案について、修正部分を中心に委員の皆様にご確認をいただき、改めて御意見を頂戴しました。その結果、文章がおおむねまとまりましたので、次回の総会で答申を取りまとめる運びとしたいとこちらから提案しまして、委員の皆様から御了解をいただきました。次回の総会は公開とします。

私からは以上です。

○記者

一点だけお願いします。次回の総会でやる内容については、今日ほとんど固まってきたということですが、こういったことを次回の総会でやることになるのでしょうか。

○中里会長

まだ微調整が残っていますので、修正したものを発言をなさった方にお聞きしながら最終的なものにしていきたいと思えます。今日大体全体的にできたのですが、例えばここのをはをどうか、この形容詞は要らないのではないかとか、そういうところがいろいろ出てきましたので、それは皆さんに御納得いただくのがよろしいので、そういう手続を慎重な上に慎重にということが続けていきたいと思っています。骨格自体は変わらないと思えます。

○記者

ありがとうございます。

各社さん、いかがでしょうか。

○記者

前回、今回を通してこの辺のテーマで割と盛り上がっているとか、意見の多少の対立があったりとか、そういう印象がもしあれば教えていただけますか。

○中里会長

特定の一つの項目について盛り上がるということではなくて、皆さん、何ページの何行目ということで、それぞれの方が幾つもここはこうした方がいいのではないかと

うことをおっしゃいまして、全体的に満遍なく御意見を頂戴しました。表現の細部に至るまで丁寧な御意見を頂戴しまして、それが結果的にはいい答申につながるのではないかということで、よかったと思っています。

○記者

まだ微調整は残っているということなのですが、答申についてはおおむねまとまったということで、会長としてほぼまとまった答申を捉えられてどのように感じておられるか。例えばこういうところを言いたかった、そこはきちんと反映できているのではないかとか、どういうメッセージをそこに込められたかとか、今、ここまで出来上がっているものを見てどのように感じておられるかということをご教示いただけますか。

○中里会長

まだ最終的ではありませんので、今の段階でこういうまとめだとか、こういうことだということは次回までちょっと。

先に申し上げたいと思いますが、今回の答申案は、経済社会の構造変化を、どのようなところでどのような変化が起きているかという事実認識を非常に丁寧に、丁寧に自分で言うてはいけませんが、これを一生懸命やって、次に、そのような変化に対して税制がどのように対応すべきかというこの二つをやってきました。

事実認識の問題として、働き方が多様になったにもかかわらず、なかなか社会全体がそれに対応していないとか、そのようなことが出てきたわけです。特に重要なのは、働き方によって、あるいはライフコースによって税制が異なった形で適用されるということになると、それは余りいいことではないのではないかという基本的な論点から出発したわけで、その点を細かく様々な、この場所ではこうだ、この場所ではこうだと詰めていく作業をやってきました。

先ほど見たのですが、今までこの6年間に出した様々な意見書などは随分な厚さになるのですね。それを単にまとめたというわけではないのですが、基本的にその中で書いたことを分かりやすくまとめる。それに加えて、さらに将来の方向性も出せる範囲で出すということで、それなりにまとまったものになるのではないかと考えています。

経済社会の構造変化というのは、先ほども申し上げた働き方やライフコースの選択が多様化しているということです。それから、グローバル化や経済のデジタル化など、非常に多岐にわたりますので、答申としてこうだという一つのメッセージを一点豪華主義で打ち出すというよりも、それぞれの構造変化に対し税制がどのように対応すべきなのかという考え方を提示できればと思っています。

しかも、一つの問題についてこうだと一つの方策だけを必ずしも述べるわけではなくて、こういう問題があって、それに対してはこのような選択肢があるのではないかと幾つかの選択肢を示し、あとはプレスの皆様からそれを国民の方々にお知らせいた

だいて、国民の皆様にお考えいただいて、そして政治過程の中で、国会で国民の代表に決めていただくという方向が一番自然だし、望ましいのではないかという、今のは個人的な考え方ですが、そのような気持ちでいます。

○記者

ありがとうございます。

○記者

私からもう一点お願いしたいのですが、答申の中身の件ではないのですが、17日ですか、正式に自民党税制調査会で甘利会長が新会長に就任されました。甘利さんに対する期待だとか、どのように思われているかなどを教えていただければと思います。

○中里会長

何年前になりますか、一橋大学の兼松講堂で甘利先生と一橋の経済の佐藤主光先生とエコノミストの熊谷亮丸さんの3人で、私が司会をして議論をしたことがございまして、税制について非常に詳しい、立派な方というイメージでございます。

○記者

ありがとうございます。

他はよろしいでしょうか。

ありがとうございました。

○中里会長

どうかよろしく申し上げます。

[閉会]